T&D
T&D保険グループ

ベトナム・ASEAN・バランスファンド
愛称：V－Plus

第14期運用報告書（全体版）
（決算日　2021年８月30日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2007年８月28日から2027年８月30日まで	
運用方針	インドシナ地域株式マザーファンドおよびＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンドに投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 各マザーファンドの運用にあたっては、日興アセットマネジメント アジア リミテッドに運用の指図に関する権限の一部を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	インドシナ地域株式マザーファンドおよびＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンドを主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することがあります。
	インドシナ地域株式マザーファンド	主としてベトナムの証券取引所に上場・登録等されている銘柄に投資します。ただし、ベトナム関連企業であれば、他の株式市場に上場している銘柄にも投資を行います。また、インドシナ地域の株式に連動する証書、債券等にも投資を行います。将来的にはカンボジア、ラオス、ミャンマーの株式に投資を行う可能性があります。
	ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド	主としてＡＳＥＡＮ地域（東南アジア諸国連合の加盟国）の各国が発行する現地通貨建および米ドル、ユーロなど外貨建の国債、地方債、国営企業債、社債等に投資します。
組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の70%未満とします。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	インドシナ地域株式マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド	株式（新株引受権証券、新株予約権証券および新株引受権付社債券を含みます。）への投資は信託財産の純資産総額の10%未満とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ベトナム・ＡＳＥＡＮ・バランスファンド」は、2021年８月30日に第14期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社
〒108-0014　東京都港区芝　５－36－７

お問い合わせ先
投信営業部 03-6722-4810
（受付時間：営業日の午前９時～午後５時）
https://www.tdasset.co.jp/

最近５期の運用実績、基準価額の推移等

最近５期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率					
	円	円	%	%	%	%	%	百万円
10期（2017年８月28日）	10,957	650	11.7	48.9	－	34.5	－	1,794
11期（2018年８月28日）	11,487	550	9.9	49.3	－	34.6	－	2,076
12期（2019年８月28日）	10,889	350	△ 2.2	50.0	－	34.1	－	1,804
13期（2020年８月28日）	10,361	100	△ 3.9	52.1	－	36.0	－	1,696
14期（2021年８月30日）	13,311	400	32.3	55.9	－	26.6	－	1,780

（注）基準価額および分配金は１万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。
（注）当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。
（注）株式組入比率には、株式の性質を有するオプション証券等を含みます。
（注）先物比率＝買建比率－売建比率
（注）当ファンドは比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

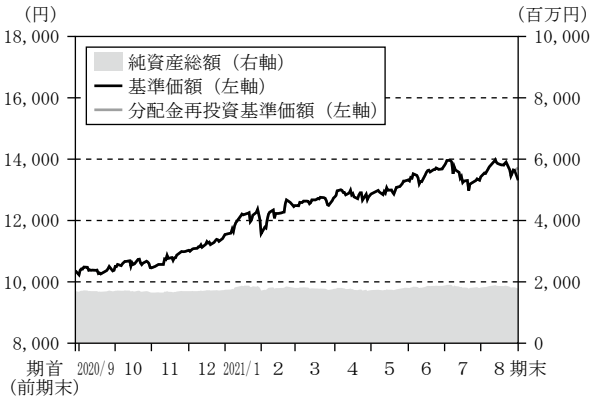
当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率
		騰落率				
期首（前期末）	円	%	%	%	%	%
2020年８月28日	10,361	－	52.1	－	36.0	－
８月末	10,229	△ 1.3	51.8	－	36.0	－
９月末	10,504	1.4	52.8	－	34.8	－
10月末	10,454	0.9	51.0	－	35.9	－
11月末	11,032	6.5	54.2	－	33.0	－
12月末	11,542	11.4	56.1	－	32.2	－
2021年１月末	11,568	11.6	54.0	－	31.6	－
２月末	12,487	20.5	54.7	－	28.1	－
３月末	12,771	23.3	57.5	－	28.2	－
４月末	12,865	24.2	58.2	－	27.7	－
５月末	13,322	28.6	58.0	－	26.9	－
６月末	13,797	33.2	58.6	－	26.2	－
７月末	13,426	29.6	55.9	－	26.4	－
期末						
2021年８月30日	13,711	32.3	55.9	－	26.6	－

（注）基準価額は１万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。
（注）当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。
（注）株式組入比率には、株式の性質を有するオプション証券等を含みます。
（注）先物比率＝買建比率－売建比率
（注）当ファンドは比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第14期首：10,361円
第14期末：13,311円（既払分配金400円）
騰 落 率：32.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2020年８月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

「インドシナ地域株式マザーファンド」および「ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド」を通じて、ベトナムの株式やＡＳＥＡＮ各国の債券に投資しており、ベトナム株式が上昇したことが基準価額（分配金再投資ベース）上昇の主な要因となりました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
インドシナ地域株式マザーファンド	58.0%
ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド	4.1

■ 投資環境

【インドシナ地域株式市場】

当期のベトナム株式市場は上昇しました。ベトナムにおいて、新型コロナウイルスの感染が抑制された状態が続き、早期の経済活動正常化への期待が強まったことが買い安心感につながったほか、ベトナム国家銀行（中央銀行）による利下げも好感され、2021年１月中旬にかけて株価は上昇基調で推移しました。しかしその後は、ベトナム国内において個人投資家の信用取引に対する貸出姿勢が厳格化されるとの観測が広がったことで利益確定の売りが膨らんだほか、約２ヵ月ぶりに新型コロナウイルスの市中感染が明らかになったことが投資家心理を冷やし、株価は急落しました。２月には、ベトナム政府による厳格な感染予防措置のもと投資家の過度な警戒感が和らぎ、株価は反発しました。その後も、ベトナムの製造業の回復を示す経済指標、ＩＭＦ（国際通貨基金）による2021年の世界経済成長率見通しの上方修正が好感されたほか、一部の国における経済活動再開の動きや海外株式市場の堅調さも好材料となって、主要株価指数であるＶＮ指数が史上最高値を更新する展開が続きました。しかし７月には、新型コロナウイルス変異株がまん延するなか、ベトナム当局が感染予防措置を強化したことが嫌気され、株価は大幅に下落しました。期末にかけては、海外株式市場が強含んだことでベトナム株式市場においても好業績銘柄などが買われる局面もありましたが、新型コロナウイルスの感染予防措置がベトナム経済に及ぼす悪影響への懸念がくすぶるなか、株価は上値の重い展開となりました。

【ＡＳＥＡＮ地域債券市場】

当期のＡＳＥＡＮ地域債券市場は概ね下落しました。期初から2020年12月にかけては、米大統領選挙の結果を受けて先行きの不透明感が和らいだことや、米欧での新型コロナウイルスワクチンの開発進展を受けて投資家心理が改善するなか、ＡＳＥＡＮ地域債券市場は堅調に推移しました。2021年１月から３月にかけては、米国の景気回復への期待を反映した米長期金利の上昇を受けて、ＡＳＥＡＮ地域債券市場は大幅に下落しました。その後、米長期金利の上昇が一服するなかでＡＳＥＡＮ地域債券市場は反転上昇する動きとなり、期末にかけては、ＡＳＥＡＮ各国の相対的に高い利回りを求める動きなどから、各国まちまちながら堅調に推移しました。インドネシア債券市場については、政策金利の引下げや落ち着いたインフレ環境などを受けて、期を通じて上昇しました。

【為替動向】

当期末のベトナムドンは、対円で前期末比＋4.7％となりました。
また、当期のＡＳＥＡＮ各国通貨は、期を通じてはドルが円に対して上昇するなか、タイバーツを除いて対円で上昇しました。期初から2020年12月にかけては、米大統領選挙の結果を受けて先行きの不透明感が和らいだことなどからリスク選好の動きが強まり、各国通貨とも対円で概ね堅調に推移しました。2021年１月から３月にかけては、米国の景気回復への期待を反映し円安米ドル高が進行したことから、各国通貨は対円で上昇基調となりましたが、４月以降は、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて経済の先行きへの懸念が高まり、各国通貨とも対円で軟調に推移しました。シンガポールドルは、同国における新型コロナウイルスワクチン接種の進捗がＡＳＥＡＮ地域内で最も早かったことから、相対的に高い上昇率となりました。タイバーツは、新型コロナウイルス感染再拡大や政治情勢の不安定化が重しとなり、対前期末比では対円で下落しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

期を通じて、「インドシナ地域株式マザーファンド」に57～67％程度、「ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド」に28～38％程度投資を行いました。

【インドシナ地域株式マザーファンド】

銘柄選択にあたっては、ボトムアップアプローチでの徹底したファンダメンタル分析を用い、中長期的な観点から今後高い成長が期待でき、相対的に割安な銘柄に投資を行いました。デジワールド（ＩＴ機器販売会社）、ジェマデプト（海運会社）の組入等を行った一方、ホアファットグループ（鉄鋼、冷蔵庫等複合メーカー）、キンバックシティグループ（インフラ建設会社）、ベトナム外商銀行（商業銀行）等の一部売却を行いました。

（注）文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

【ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド】

主としてＡＳＥＡＮ地域の各国が発行する債券を運用対象としました。債券組入比率は、86～96％程度の水準を維持しました。国別では、期初に低めの組入比率としていたインドネシアについて組入比率を引上げ、フィリピンについては、期中に組入比率をやや引下げました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

１万口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準等を勘案し、400円とさせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「インドシナ地域株式マザーファンド」60％程度、「ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド」40％程度を基本構成比とし、マザーファンドを高位に組入れる運用を行います。

【インドシナ地域株式マザーファンド】

ベトナムにおいては、新型コロナウイルス変異株の感染拡大が続いており、新型コロナウイルスワクチン接種により集団免疫を獲得するまでの間、感染拡大防止のための社会的隔離措置が繰り返されることが想定されます。株式市場の変動性が高い局面においては、ポートフォリオのキャッシュ比率をやや高めた状態とします。感染拡大防止策による実体経済への影響は想定されますが、世界各国においてサプライチェーン多様化の重要性が意識されるなか、中国に代わる最も魅力的な製造拠点としてのベトナム経済の長期的な成長を見込んで投資を行います。経済成長を背景とした所得の伸び、中間所得層の拡大による消費需要の加速が期待されることから、消費の伸びの恩恵を受ける、食品・飲料、小売、不動産に関連する銘柄を選好します。また、工業生産の拡大の恩恵を受ける工業団地の運営や発電に関連する銘柄、ＩＴや鉄鋼関連の銘柄に注目しています。

【ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド】

主としてＡＳＥＡＮ地域各国が発行する債券を運用対象とします。新型コロナウイルス変異株の感染拡大が世界経済の回復を遅らせる懸念があり、最近の米国債利回りの低下に見られるように市場の懸念も高まっています。こうした環境下、ＡＳＥＡＮ地域債券市場については中立的な見通しとしており、国別では相対的に利回りの高いインドネシアについて選好します。ＡＳＥＡＮ通貨については、米国の成長期待を背景に米ドルが強くなる可能性があることから、やや慎重にみています。

「インドシナ地域株式マザーファンド」および「ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド」の運用にあたっては、日興アセットマネジメント　アジア　リミテッドに運用の指図に関する権限の一部を委託します。

１万口当たりの費用明細（2020年８月29日から2021年８月30日まで）

費用の明細

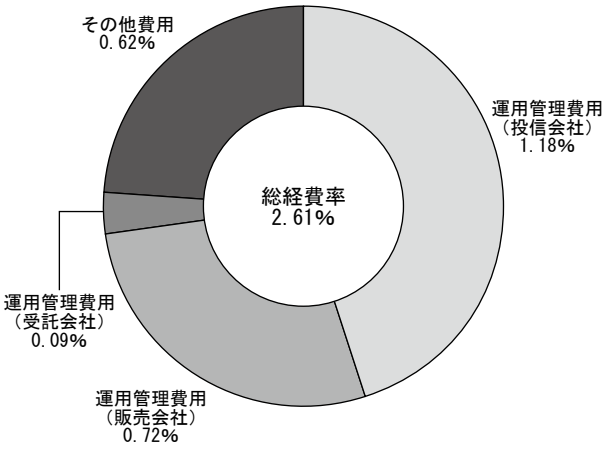
項目	当期		項目の概要
	2020/８/29～2021/８/30		
	金額	比率	
平均基準価額	11,999円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	239円	1.991%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(142)	(1.183)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(86)	(0.719)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(11)	(0.088)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	8	0.065	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(8)	(0.065)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	3	0.023	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(3)	(0.023)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	75	0.625	(d)その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(68)	(0.567)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(2)	(0.018)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他１）	(0)	(0.001)	その他１は、金融商品取引を行うための識別番号に係る費用
（その他２）	(5)	(0.039)	その他２は、インドネシア国債のキャピタルゲインに係る税金
合計	325	2.704	

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）「比率」欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、2.61％です。



（注）費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況（2020年８月29日から2021年８月30日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
インドシナ地域株式マザーファンド	5,364	12,500	140,973	303,300
ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド	12,033	17,000	135,985	185,500

（注）単位未満は切捨て。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合（2020年８月29日から2021年８月30日まで）

項目	当期	
	ベトナム・ＡＳＥＡＮ・バランスファンド	インドシナ地域株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	－	622,431千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	－	1,104,405千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	－	0.56

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注）単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等（2020年８月29日から2021年８月30日まで）

当期中の利害関係人との取引状況

＜インドシナ地域株式マザーファンド＞
該当事項はありません。

＜ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド＞

区分	当期					
	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	334	43	12.9	504	43	8.5

平均保有割合　100.0%
（注）平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。
（注）金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、米国三井住友信託銀行です。

組入資産の明細（2021年８月30日現在）

親投資信託残高

種類	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
インドシナ地域株式マザーファンド	593,398	457,789	1,181,095
ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド	484,932	360,980	501,942

（注）インドシナ地域株式マザーファンド全体の受益権口数は568,712千口です。
ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド全体の受益権口数は360,980千口です。
（注）単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成（2021年８月30日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
インドシナ地域株式マザーファンド	1,181,095	63.3
ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド	501,942	26.9
コール・ローン等、その他	184,014	9.8
投資信託財産総額	1,867,051	100.0

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
なお、当期末における邦貨換算レートは以下の通りです。
１アメリカ・ドル＝109.74円、１香港・ドル＝14.09円、１シンガポール・ドル＝81.56円、１マレーシア・リンギット＝26.2734円、１タイ・バーツ＝3.37円、１フィリピン・ペソ＝2.1967円、１インドネシア・ルピア＝0.0076円、１ベトナム・ドン＝0.004817円
（注）インドシナ地域株式マザーファンドの当期末における外貨建純資産（1,392,909千円）の投資信託財産総額（1,467,271千円）に対する比率は94.9％です。
ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンドの当期末における外貨建純資産（486,466千円）の投資信託財産総額（501,939千円）に対する比率は96.9％です。
（注）評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年８月30日現在

項目	当期末
(A) 資産	1,867,051,000円
コール・ローン等	184,012,173
インドシナ地域株式マザーファンド(評価額)	1,181,095,847
ASEAN地域債券マザーファンド(評価額)	501,942,980
(B) 負債	87,007,871
未払収益分配金	53,492,588
未払解約金	15,441,286
未払信託報酬	17,914,496
未払利息	326
その他未払費用	159,175
(C) 純資産総額(A－B)	1,780,043,129
元本	1,337,314,702
次期繰越損益金	442,728,427
(D) 受益権総口数	1,337,314,702口
１万口当たり基準価額(C／D)	13,311円

（注）期首元本額　1,637,096,165円
期中追加設定元本額　219,688,594円
期中一部解約元本額　519,470,057円

（注）１口当たり純資産額は1.3311円です。

損益の状況

当期　自2020年８月29日　至2021年８月30日

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 64,178円
受取利息	402
支払利息	△ 64,580
(B) 有価証券売買損益	441,393,629
売買益	523,139,859
売買損	△ 81,746,230
(C) 信託報酬等	△ 35,524,071
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	405,805,380
(E) 前期繰越損益金	△ 78,445,410
(F) 追加信託差損益金	168,861,045
(配当等相当額)	(88,158,882)
(売買損益相当額)	(80,702,163)
(G) 合計(D＋E＋F)	496,221,015
(H) 収益分配金	△ 53,492,588
次期繰越損益金(G＋H)	442,728,427
追加信託差損益金	168,861,045
(配当等相当額)	(88,554,352)
(売買損益相当額)	(80,306,693)
分配準備積立金	273,867,382

（注）損益の状況の中で
(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

（注）当期における、親投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用。
支払金額　7,308,587円（インドシナ地域株式マザーファンド）
3,689,096円（ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド）

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益（29,988,957円）、費用控除後の有価証券売買等損益（297,371,013円）および収益調整金（168,861,045円）より、分配対象収益は496,221,015円（１万口当たり3,710円）であり、うち53,492,588円（１万口当たり400円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳　（単位：円・%、1万口当たり・税引前）

項目		当期
		2020年８月29日 ～2021年８月30日
当期分配金		400
	（対基準価額比率）	2.917
	当期の収益	400
	当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額		3,310

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。
※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

≪お知らせ≫

2021年５月27日適用で、信託期間を延長し、信託終了日を2022年８月29日から2027年８月30日とするよう約款変更を行いました。

インドシナ地域株式マザーファンド

運用報告書（全体版）　第14期（決算日　2021年８月30日）
（計算期間　2020年８月29日から2021年８月30日まで）

「インドシナ地域株式マザーファンド」は、2021年８月30日に第14期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限とします。
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 外貨建資産については原則として為替ヘッジは行いません。 運用にあたっては、日興アセットマネジメント アジア リミテッドに運用の指図に関する権限の一部を委託します。
主要運用対象	主としてベトナムの証券取引所に上場・登録等されている銘柄に投資します。ただし、ベトナム関連企業であれば、他の株式市場に上場している銘柄にも投資を行います。また、インドシナ地域の株式に連動する証書、債券等にも投資を行います。将来的にはカンボジア、ラオス、ミャンマーの株式に投資を行う可能性があります。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

最近５期の運用実績、基準価額の推移等

最近５期の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
		期中騰落率			
	円	%	%	%	百万円
10期（2017年８月28日）	15,361	19.6	87.4	－	1,005
11期（2018年８月28日）	18,198	18.5	87.3	－	1,173
12期（2019年８月28日）	17,872	△ 1.8	87.3	－	1,032
13期（2020年８月28日）	16,324	△ 8.7	91.3	－	1,070
14期（2021年８月30日）	25,800	58.0	84.3	－	1,467

（注）基準価額は１万口当たり。
（注）株式組入比率には、株式の性質を有するオプション証券等を含みます。
（注）先物比率＝買建比率－売建比率
（注）当ファンドは比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率		
期首（前期末）	円	%	%	%
2020年８月28日	16,324	－	91.3	－
８月末	16,066	△ 1.6	91.3	－
９月末	16,886	3.4	90.2	－
10月末	16,798	2.9	86.5	－
11月末	18,213	11.6	90.0	－
12月末	19,613	20.1	90.3	－
2021年１月末	19,699	20.7	85.2	－
２月末	22,177	35.9	84.2	－
３月末	22,776	39.5	88.3	－
４月末	23,151	41.8	90.2	－
５月末	24,365	49.3	88.3	－
６月末	25,775	57.9	88.4	－
７月末	25,043	53.4	83.8	－
期末				
2021年８月30日	25,800	58.0	84.3	－

（注）基準価額は１万口当たり。騰落率は期首比。
（注）株式組入比率には、株式の性質を有するオプション証券等を含みます。
（注）先物比率＝買建比率－売建比率
（注）当ファンドは比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移

■ 基準価額の主な変動要因

主にベトナムに上場している株式に投資しました。ベトナム株式が上昇したことが基準価額上昇の主な要因となりました。

■ 投資環境

【インドシナ地域株式市場】

当期のベトナム株式市場は上昇しました。ベトナムにおいて、新型コロナウイルスの感染が抑制された状態が続き、早期の経済活動正常化への期待が強まったことが買い安心感につながったほか、ベトナム国家銀行（中央銀行）による利下げも好感され、2021年１月中旬にかけて株価は上昇基調で推移しました。しかしその後は、ベトナム国内において個人投資家の信用取引に対する貸出姿勢が厳格化されるとの観測が広がったことで利益確定の売りが膨らんだほか、約２ヵ月ぶりに新型コロナウイルスの市中感染が明らかになったことが投資家心理を冷やし、株価は急落しました。２月には、ベトナム政府による厳格な感染予防措置のもと投資家の過度な警戒感が和らぎ、株価は反発しました。その後も、ベトナムの製造業の回復を示す経済指標、ＩＭＦ（国際通貨基金）による2021年の世界経済成長率見通しの上方修正が好感されたほか、一部の国における経済活動再開の動きや海外株式市場の堅調さも好材料となって、主要株価指数であるＶＮ指数が史上最高値を更新する展開が続きました。しかし７月には、新型コロナウイルス変異株がまん延するなか、ベトナム当局が感染予防措置を強化したことが嫌気され、株価は大幅に下落しました。期末にかけては、海外株式市場が強含んだことでベトナム株式市場においても好業績銘柄などが買われる局面もありましたが、新型コロナウイルスの感染予防措置がベトナム経済に及ぼす悪影響への懸念がくすぶるなか、株価は上値の重い展開となりました。

【為替動向】

当期末のベトナムドンは、対円で前期末比＋4.7％となりました。また、米ドルは対円で＋2.9％と米ドル高円安となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

銘柄選択にあたっては、ボトムアップアプローチでの徹底したファンダメンタル分析を用い、中長期的な観点から今後高い成長が期待でき、相対的に割安な銘柄に投資を行いました。デジワールド（ＩＴ機器販売会社）、ジェマデプト（海運会社）の組入等を行った一方、ホアファットグループ（鉄鋼、冷蔵庫等複合メーカー）、キンバックシティグループ（インフラ建設会社）、ベトナム外商銀行（商業銀行）等の一部売却を行いました。

（注）文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

ベトナムにおいては、新型コロナウイルス変異株の感染拡大が続いており、新型コロナウイルスワクチン接種により集団免疫を獲得するまでの間、感染拡大防止のための社会的隔離措置が繰り返されることが想定されます。株式市場の変動性が高い局面においては、ポートフォリオのキャッシュ比率をやや高めた状態とします。感染拡大防止策による実体経済への影響は想定されますが、世界各国においてサプライチェーン多様化の重要性が意識されるなか、中国に代わる最も魅力的な製造拠点としてのベトナム経済の長期的な成長を見込んで投資を行います。経済成長を背景とした所得の伸び、中間所得層の拡大による消費需要の加速が期待されることから、消費の伸びの恩恵を受ける、食品・飲料、小売、不動産に関連する銘柄を選好します。また、工業生産の拡大の恩恵を受ける工業団地の運営や発電に関連する銘柄、ＩＴや鉄鋼関連の銘柄に注目しています。

運用にあたっては、日興アセットマネジメント　アジア　リミテッドに運用の指図に関する権限の一部を委託します。

１万口当たりの費用明細（2020年８月29日から2021年８月30日まで）

費用の明細

項目	当期	
	2020/８/29～2021/８/30	
	金額	比率
平均基準価額	20,880円	
(a) 売買委託手数料	22円	0.105%
(株式)	(22)	(0.105)
(b) 有価証券取引税	8	0.036
(株式)	(8)	(0.036)
(c) その他費用	174	0.833
(保管費用)	(174)	(0.832)
(その他１)	(0)	(0.000)
合計	204	0.974

（注）費用項目につきましては５ページ（１万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

売買および取引の状況（2020年８月29日から2021年８月30日まで）

外国株式

		買	付	売	付
		株数	金額	株数	金額
外国	ベトナム	百株 6,230.9 (8,074.31)	千ベトナム・ドン 34,512,850 (26,792,551)	百株 23,659.9 (4,433.16)	千ベトナム・ドン 98,622,847 (26,792,551)

（注）金額は受渡代金。単位未満は切捨て。ただし株数が単位未満の場合は小数で記載。
（注）（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合（2020年８月29日から2021年８月30日まで）

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	622,431千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,104,405千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.56

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注）単位未満は切捨て。

当期中の主要な売買銘柄（2020年８月29日から2021年８月30日まで）

外国株式（上位10銘柄）

買				売			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
PETROVIETNAM TECHNICAL SERVICE	287.5	38,759	134	HOA PHAT GROUP JSC	361.07	69,033	191
DIGIWORLD CORP	61	38,327	628	KINH BAC CITY DEVELOPMENT SHARE HOLDING CORP	411.88	60,507	146
JSC BANK FOR FOREIGN TRADE	57.4	27,182	473	JSC BANK FOR FOREIGN TRADE	123.42	56,043	454
VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	28.6	14,379	502	VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	90.36	42,115	466
GEMADEPT CORP	70.7	12,997	183	VINCOM RETAIL JSC	239.86	32,165	134
SAIGON BEER ALCOHOL BEVERAGE CORP	9.74	8,574	880	FPT CORP	60	28,061	467
MASAN GROUP CORP	19.1	8,229	430	VINHOMES JSC	58.19	25,014	429
VINCOM RETAIL JSC	65.33	8,223	125	KHANG DIEN HOUSE TRADING AND INVESTMENT	137.8	23,536	170
PHU NHUAN JEWELRY JSC	23.72	7,058	297	NAM LONG INVESTMENT CORP	132.3	23,513	177
				MOBILE WORLD INVESTMENT CORP	20	16,929	846

（注）金額は受渡代金。単位未満は切捨て。ただし株数が単位未満の場合は小数で記載。
（注）株式分割、合併等による増減分の調整は行っておりません。

利害関係人との取引状況等（2020年８月29日から2021年８月30日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細（2021年８月30日現在）

下記は、インドシナ地域株式マザーファンド全体（568,712千口）の内容です。

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
（ベトナム）	百株	百株	千ベトナム・ドン	千円	
GEMADEPT CORP	—	707	3,612,770	17,402	運輸
HO CHI MINH CITY INFRASTRUCTURE INVESTMENT JSC	2,703.6	2,047.6	3,532,110	17,014	運輸
KIDO GROUP CORP	0.02	0.02	119	0.577	食品・飲料・タバコ
VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	1,388.4	1,048.48	9,121,776	43,939	食品・飲料・タバコ
PETROVIETNAM DRILLING AND WELL SERVICES	0.09	0.09	164	0.791	エネルギー
FPT CORP	3,090.4	2,893.96	26,624,432	128,249	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SSI SECURITIES CORP	997.58	997.58	6,105,189	29,408	各種金融
PETROVIETNAM TRANSPORTATION	2,528.1	0.57	1,251	6	エネルギー
VINGROUP JSC	559.89	629.87	5,971,167	28,762	不動産
HATIEN 1 CEMENT JSC	0.02	0.02	41	0.2	素材
HOA PHAT GROUP JSC	5,149.09	2,395.32	11,401,723	54,922	素材
KINH BAC CITY DEVELOPMENT SHARE HOLDING CORP	7,124.7	3,005.9	11,843,246	57,048	不動産
VINH HOAN CORP	1,983.4	1,424.2	6,665,256	32,106	食品・飲料・タバコ
HOA SEN GROUP	0.06	0.06	229	1	素材
HAGL JSC	0.04	0.04	20	0.097	各種金融
PETROVIETNAM NHON TRACH 2 POWER	1,584.57	1,285.57	2,628,990	12,663	公益事業
KHANG DIEN HOUSE TRADING AND INVESTMENT	4,425.16	3,392.67	13,282,303	63,980	不動産
TMT AUTOMOBILE JSC	0.07	0.07	72	0.348	自動車・自動車部品
MASAN GROUP CORP	877.65	866.55	11,776,414	56,726	食品・飲料・タバコ
COTECCONS CONSTRUCTION JSC	0.03	0.03	198	0.958	資本財
JSC BANK FOR FOREIGN TRADE	2,114.22	1,454.02	14,220,315	68,499	銀行
PHU NHUAN JEWELRY JSC	1,240.3	1,477.5	12,676,950	61,064	耐久消費財・アパレル
NAM LONG INVESTMENT CORP	4,135.52	3,208.28	13,603,107	65,526	不動産
SAIGON BEER ALCOHOL BEVERAGE CORP	726.2	722.6	10,730,610	51,689	食品・飲料・タバコ
FPT DIGITAL RETAIL JSC	0.01	0.01	40	0.197	小売
VIETNAM TECHNOLOGICAL & COMMERCIAL JOINT STOCK BANK	2,023.7	2,023.7	9,723,878	46,839	銀行
PETROVIETNAM POWER CORP	3,912.6	2,286.7	2,721,173	13,107	公益事業
VINHOMES JSC	1,730.07	1,148.17	12,273,937	59,123	不動産
MOBILE WORLD INVESTMENT CORP	1,769.72	1,569.72	25,821,894	124,384	小売
NOIBAI CARGO TERMINAL SERVICE JSC	0.01	0.01	73	0.355	運輸
CENTURY SYNTHETIC FIBER CORP	0.07	0.07	326	1	耐久消費財・アパレル
VIETNAM NATIONAL PETROLEUM GROUP	1,860.8	1,286.2	6,366,690	30,668	エネルギー
POWER CONSTRUCTION JSC NO.1	2,754.8	2,670.76	9,093,937	43,805	資本財
DIGIWORLD CORP	—	1,220	10,406,600	25,064	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
VINCOM RETAIL JSC	5,283.15	3,537.85	9,481,438	45,672	不動産
PETROVIETNAM TECHNICAL SERVICE	0.22	2,875.22	7,101,793	34,209	エネルギー
ファンド合計 株数・金額	59,964.26	46,176.41	256,790,242	1,236,958	
ファンド合計 銘柄数〈比率〉	34銘柄	36銘柄	—	〈84.3%〉	

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）邦貨換算金額欄の＜　＞内は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注）株数・評価額の単位未満は切捨て。ただし株数が単位未満の場合は小数で記載。

投資信託財産の構成（2021年８月30日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	1,236,958	84.3
コール・ローン等、その他	230,313	15.7
投資信託財産総額	1,467,271	100.0

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
なお、当期末における邦貨換算レートは以下の通りです。
１アメリカ・ドル＝109.74円、１香港・ドル＝14.09円、１ベトナム・ドン＝0.004817円
（注）当期末における外貨建純資産（1,392,909千円）の投資信託財産総額（1,467,271千円）に対する比率は94.9％です。
（注）評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年８月30日現在

項目	当期末
(A) 資産	1,467,271,700円
コール・ローン等	228,216,566
株式(評価額)	1,236,958,596
未収配当金	2,096,538
(B) 負債	132
未払利息	132
(C) 純資産総額(A－B)	1,467,271,568
元本	568,712,730
次期繰越損益金	898,558,838
(D) 受益権総口数	568,712,730口
１万口当たり基準価額(C／D)	25,800円

（注）期首元本額　655,595,152円
期中追加設定元本額　65,493,148円
期中一部解約元本額　152,375,570円
（注）１口当たり純資産額は2.5800円です。
（注）当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
ベトナム・ＡＳＥＡＮ・バランスファンド　457,789,088円
Ｔ＆Ｄ　ベトナム株式ファンド　110,923,642円

損益の状況

当期　自2020年８月29日　至2021年８月30日

項目	当期
(A) 配当等収益	19,570,569円
受取配当金	19,596,163
受取利息	101
支払利息	△ 25,695
(B) 有価証券売買損益	561,475,790
売買益	596,411,676
売買損	△ 34,935,886
(C) その他費用	△ 10,544,493
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	570,501,866
(E) 前期繰越損益金	414,574,550
(F) 追加信託差損益金	89,906,852
(G) 解約差損益金	△176,424,430
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	898,558,838
次期繰越損益金(H)	898,558,838

（注）損益の状況の中で
(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
(G)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド

運用報告書（全体版）　第14期（決算日　2021年８月30日）
（計算期間　2020年８月29日から2021年８月30日まで）

「ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド」は、2021年８月30日に第14期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限とします。
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 外貨建資産については原則として為替ヘッジは行いません。 運用にあたっては、日興アセットマネジメント アジア リミテッドに運用の指図に関する権限の一部を委託します。
主要運用対象	主としてＡＳＥＡＮ地域（東南アジア諸国連合の加盟国）の各国が発行する現地通貨建および米ドル、ユーロなど外貨建の国債、地方債、国営企業債、社債等に投資します。
組入制限	株式（新株引受権証券、新株予約権証券および新株引受権付社債券を含みます。）への投資は信託財産の純資産総額の10%未満とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

最近５期の運用実績、基準価額の推移等

最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率			
	円	%	%	%	百万円
10期（2017年８月28日）	11,963	6.3	90.7	－	682
11期（2018年８月28日）	12,247	2.4	91.9	－	781
12期（2019年８月28日）	12,445	1.6	92.8	－	663
13期（2020年８月28日）	13,363	7.4	94.1	－	648
14期（2021年８月30日）	13,905	4.1	94.3	－	501

（注）基準価額は１万口当たり。
（注）先物比率＝買建比率－売建比率
（注）当ファンドは比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

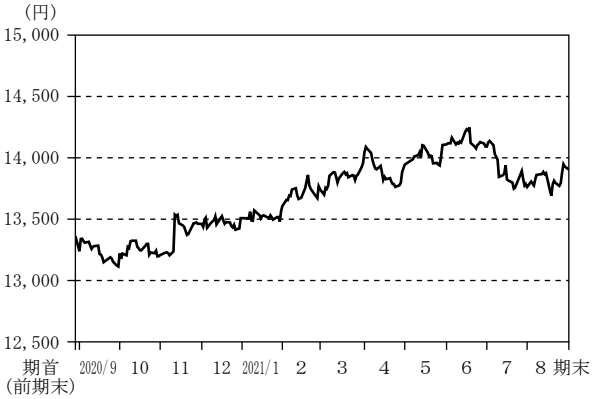
当期中の基準価額等の推移

年月日	基準	価額	債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
期首（前期末）	円	%	%	%
2020年８月28日	13,363	－	94.1	－
８月末	13,239	△0.9	94.1	－
９月末	13,221	△1.1	92.9	－
10月末	13,207	△1.2	96.1	－
11月末	13,461	0.7	93.5	－
12月末	13,508	1.1	94.9	－
2021年１月末	13,606	1.8	90.9	－
２月末	13,743	2.8	92.1	－
３月末	14,046	5.1	93.0	－
４月末	13,945	4.4	94.5	－
５月末	14,109	5.6	92.8	－
６月末	14,092	5.5	93.0	－
７月末	13,762	3.0	92.6	－
期末				
2021年８月30日	13,905	4.1	94.3	－

（注）基準価額は１万口当たり。騰落率は期首比。
（注）先物比率＝買建比率－売建比率
（注）当ファンドは比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

主としてＡＳＥＡＮ地域各国が発行する債券を運用対象とした結果、ＡＳＥＡＮ各国の債券が全体では概ね下落したものの、ＡＳＥＡＮ地域債券のインカム収入に加え、ＡＳＥＡＮ各国の通貨が全体では円に対して上昇したことから、基準価額は上昇しました。

■ 投資環境

【ＡＳＥＡＮ地域債券市場】

当期のＡＳＥＡＮ地域債券市場は概ね下落しました。期初から2020年12月にかけては、米大統領選挙の結果を受けて先行きの不透明感が和らいだことや、米欧での新型コロナウイルスワクチンの開発進展を受けて投資家心理が改善するなか、ＡＳＥＡＮ地域債券市場は堅調に推移しました。2021年１月から３月にかけては、米国の景気回復への期待を反映した米長期金利の上昇を受けて、ＡＳＥＡＮ地域債券市場は大幅に下落しました。その後、米長期金利の上昇が一服するなかでＡＳＥＡＮ地域債券市場は反転上昇する動きとなり、期末にかけては、ＡＳＥＡＮ各国の相対的に高い利回りを求める動きなどから、各国まちまちながら堅調に推移しました。インドネシア債券市場については、政策金利の引下げや落ち着いたインフレ環境などを受けて、期を通じて上昇しました。

【為替動向】

当期のＡＳＥＡＮ各国通貨は、期を通じてはドルが円に対して上昇するなか、タイバーツを除いて対円で上昇しました。期初から2020年12月にかけては、米大統領選挙の結果を受けて先行きの不透明感が和らいだことなどからリスク選好の動きが強まり、各国通貨とも対円で概ね堅調に推移し

ました。2021年１月から３月にかけては、米国の景気回復への期待を反映し円安米ドル高が進行したことから、各国通貨は対円で上昇基調となりましたが、４月以降は、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて経済の先行きへの懸念が高まり、各国通貨とも対円で軟調に推移しました。シンガポールドルは、同国における新型コロナウイルスワクチン接種の進捗がＡＳＥＡＮ地域内で最も早かったことから、相対的に高い上昇率となりました。タイバーツは、新型コロナウイルス感染再拡大や政治情勢の不安定化が重しとなり、対前期末比では対円で下落しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

主としてＡＳＥＡＮ地域の各国が発行する債券を運用対象としました。債券組入比率は、86～96%程度の水準を維持しました。国別では、期初に低めの組入比率としていたインドネシアについて組入比率を引上げ、フィリピンについては、期中に組入比率をやや引下げました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

主としてＡＳＥＡＮ地域各国が発行する債券を運用対象とします。新型コロナウイルス変異株の感染拡大が世界経済の回復を遅らせる懸念があり、最近の米国債利回りの低下に見られるように市場の懸念も高まっています。こうした環境下、ＡＳＥＡＮ地域債券市場については中立的な見通しとしており、国別では相対的に利回りの高いインドネシアについて選好します。ＡＳＥＡＮ通貨については、米国の成長期待を背景に米ドルが強くなる可能性があることから、やや慎重にみています。

運用にあたっては、日興アセットマネジメント　アジア　リミテッドに運用の指図に関する権限の一部を委託します。

１万口当たりの費用明細（2020年８月29日から2021年８月30日まで）

費用の明細

項目	当期	
	2020/８/29～2021/８/30	
	金額	比率
平均基準価額	13,661円	
その他費用	37円	0.273%
（保管費用）	(21)	(0.151)
（その他１）	(0)	(0.001)
（その他２）	(17)	(0.121)
合計	37	0.273

（注）費用項目につきましては５ページ（１万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

売買および取引の状況（2020年８月29日から2021年８月30日まで）

外国公社債

			買付額	売付額
外国	シンガポール	国債証券	千シンガポール・ドル 99	千シンガポール・ドル 209
	マレーシア	国債証券	千マレーシア・リンギット －	千マレーシア・リンギット 541
	タイ	国債証券	千タイ・バーツ －	千タイ・バーツ 12,250
	フィリピン	国債証券	千フィリピン・ペソ 10,611	千フィリピン・ペソ 48,084
	インドネシア	国債証券	千インドネシア・ルピア 31,775,080	千インドネシア・ルピア 30,989,870

（注）金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

当期中の主要な売買銘柄（2020年８月29日から2021年８月30日まで）

外国公社債（上位10銘柄）

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
INDONESIA GOV'T 6.5% 25/6/15（インドネシア）	76,093	INDONESIA GOV'T 6.5% 25/6/15（インドネシア）	71,122
INDONESIA GOV'T 7% 22/5/15（インドネシア）	63,037	PHILIPPINE GOV'T 5.5% 23/3/8（フィリピン）	70,038
INDONESIA GOV'T 5.5% 26/4/15（インドネシア）	38,062	INDONESIA GOV'T 7% 22/5/15（インドネシア）	63,404
INDONESIA GOV'T 8.125% 24/5/15（インドネシア）	33,615	INDONESIA GOV'T 5.5% 26/4/15（インドネシア）	53,172
INDONESIA GOV'T 5.625% 23/5/15（インドネシア）	30,675	INDONESIA GOV'T 5.625% 23/5/15（インドネシア）	31,269
PHILIPPINE GOV'T 5.5% 23/3/8（フィリピン）	22,920	THAILAND GOVT 1.45% 24/12/17（タイ）	24,654
SINGAPORE GOV'T 0.5% 25/11/1（シンガポール）	8,108	PHILIPPINE GOV'T 4.625% 22/12/4（フィリピン）	22,500
		THAILAND GOVT 1.875% 22/6/17（タイ）	17,060
		SINGAPORE GOV'T 2% 24/2/1（シンガポール）	16,782
		INDONESIA GOV'T 8.125% 24/5/15（インドネシア）	16,681

（注）金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等（2020年８月29日から2021年８月30日まで）

当期中の利害関係人との取引状況

区分	当期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	334	43	12.9	504	43	8.5

（注）金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、米国三井住友信託銀行です。

組入資産の明細（2021年８月30日現在）

下記は、ＡＳＥＡＮ地域債券マザーファンド全体（360,980千口）の内容です。

(1) 外国（外貨建）公社債＜通貨別＞

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			５年以上	２年以上	２年未満
	千シンガポール・ドル	千シンガポール・ドル	千円	%	%	%	%	%
シンガポール	1,000	1,023	83,508	16.6	－	－	8.4	8.3
	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット						
マレーシア	3,900	4,017	105,556	21.0	－	－	12.9	8.1
	千タイ・バーツ	千タイ・バーツ						
タイ	16,000	16,698	56,272	11.2	－	－	5.5	5.7
	千フィリピン・ペソ	千フィリピン・ペソ						
フィリピン	45,290	47,166	103,611	20.6	－	－	－	20.6
	千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア						
インドネシア	15,500,000	16,394,016	124,594	24.8	－	－	24.8	－
合計	－	－	473,543	94.3	－	－	51.7	42.7

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国（外貨建）公社債＜銘柄別＞

区分		当期末						
		銘柄	種類	年利率	額面金額	評価額		償還年月日
						外貨建金額	邦貨換算金額	
				%	千シンガポール・ドル	千シンガポール・ドル	千円	
シンガポール		SINGAPORE GOV'T	国債証券	1.75	500	509	41,587	2023/2/1
		SINGAPORE GOV'T		2.0	400	414	33,840	2024/2/1
		SINGAPORE GOV'T		0.5	100	99	8,080	2025/11/1
通貨小計	銘柄数	3銘柄						
	金額						83,508	
					千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット		
マレーシア		MALAYSIA GOVT	国債証券	3.757	1,500	1,545	40,600	2023/4/20
		MALAYSIA GOVT		3.478	2,400	2,472	64,955	2024/6/14
通貨小計	銘柄数	2銘柄						
	金額						105,556	
					千タイ・バーツ	千タイ・バーツ		
タイ		THAILAND GOVT	国債証券	3.625	8,000	8,453	28,489	2023/6/16
		THAILAND GOVT		1.45	8,000	8,244	27,783	2024/12/17
通貨小計	銘柄数	2銘柄						
	金額						56,272	
					千フィリピン・ペソ	千フィリピン・ペソ		
フィリピン		PHILIPPINE GOV'T	国債証券	4.625	34,000	35,240	77,413	2022/12/4
		PHILIPPINE GOV'T		5.5	11,290	11,926	26,197	2023/3/8
通貨小計	銘柄数	2銘柄						
	金額						103,611	
					千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア		
インドネシア		INDONESIA GOV'T	国債証券	8.125	4,000,000	4,390,187	33,365	2024/5/15
		INDONESIA GOV'T		6.5	7,500,000	7,928,229	60,254	2025/6/15
		INDONESIA GOV'T		5.5	4,000,000	4,075,600	30,974	2026/4/15
通貨小計	銘柄数	3銘柄						
	金額						124,594	
合計	銘柄数							
	金額						473,543	

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成（2021年８月30日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	473,543	94.3
コール・ローン等、その他	28,396	5.7
投資信託財産総額	501,939	100.0

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
なお、当期末における邦貨換算レートは以下の通りです。
１アメリカ・ドル＝109.74円、１シンガポール・ドル＝81.56円、１マレーシア・リンギット＝26.2734円、１タイ・バーツ＝3.37円、１フィリピン・ペソ＝2.1967円、１インドネシア・ルピア＝0.0076円
（注）当期末における外貨建純資産（486,466千円）の投資信託財産総額（501,939千円）に対する比率は96.9％です。
（注）評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年８月30日現在

項目	当期末
(A) 資産	501,939,061円
コール・ローン等	23,833,713
国債証券(評価額)	473,543,164
未収利息	3,830,803
前払費用	731,381
(B) 負債	27
未払利息	27
(C) 純資産総額(A－B)	501,939,034
元本	360,980,209
次期繰越損益金	140,958,825
(D) 受益権総口数	360,980,209口
１万口当たり基準価額(C／D)	13,905円

（注）期首元本額　484,932,106円
期中追加設定元本額　12,033,949円
期中一部解約元本額　135,985,846円
（注）１口当たり純資産額は1.3905円です。
（注）当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
ベトナム・ＡＳＥＡＮ・バランスファンド　360,980,209円

損益の状況

当期　自2020年８月29日　至2021年８月30日

項目	当期
(A) 受取利息等収益	18,886,965円
受取利息	18,894,618
支払利息	△ 7,653
(B) 有価証券売買損益	5,119,244
売買益	16,391,315
売買損	△ 11,272,071
(C) その他費用	△ 1,567,563
(D) 当期利益(A＋B＋C)	22,438,646
(E) 前期繰越損益金	163,068,282
(F) 追加信託差損益金	4,966,051
(G) 解約差損益金	△ 49,514,154
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	140,958,825
次期繰越損益金(H)	140,958,825

（注）損益の状況の中で
(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
(G)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。